

令和7年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

愛媛県

| | |
|---------|-------------------------------|
| 行事名称 | 国指定重要文化財『渡部家住宅』火災防ぎょ訓練 |
| 実施期間・日時 | 令和8年1月8日(木) 10:30~11:00 |
| 実施場所 | 重要文化財 渡部家住宅(愛媛県松山市東方町1238番地1) |
| 主催者 | 松山市消防局 |

■実施内容

訓練の想定

松山市に数日前から火災気象通報が発令され、火災の発生しやすい状況の中、渡部家住宅主屋南側から出火し、強風の影響で重要文化財である渡部家住宅全体へ延焼拡大した。

訓練の内容

管理人による火災発見、通報、初期消火(消火器)。お接待所運営委員会、自主防災会・女性防火クラブによる初期消火(消火器)、見学者の避難誘導。自衛消防隊による延焼防止(放水銃)。消防署、消防団による放水。消防署による救助、ドローンによる状況確認、再検索・延焼防止措置。を実施。

参加者及び役割分担

お接待所運営委員会 10名 : 発見・通報・初期消火・延焼防止・避難誘導
東方町自主防災会 11名、荏原地区女性防火クラブ7名 : 初期消火・避難誘導
松山南警察署 2名 : 交通整理
松山市消防団 1台5名 : 放水
松山市南消防署 5台15名 : 総括指揮・放水・救助・講評
松山市中央消防署 3名 : ドローン
愛媛県教育委員会文化財保護課 2名、松山市教育委員会文化財課 4名 : 立会

特に工夫した点

通報では、携帯電話によるライブ映像119番通報を実施、通信指令による的確な状況把握と通報者への指示を実施。避難誘導では、多言語フリックボードを活用、外国人観光客にも対応した。ドローンによる放水状況確認及び指示を実施。

問題点・課題

渡部家住宅には、居住者がいないため、火災覚知から初期消火までタイムラグがある。迅速な初期消火体制の維持のためにも周辺住民との連携が必要であるが、地域の少子高齢化と過疎化が課題。

その他

周辺住民との連携確認や迅速スムーズな初期消火体制の確認のためにも、文化財防火デーにおける火災防ぎょ訓練が重要。

訓練風景



放水訓練状況



救助訓練状況